

# 教 育 研 究 業 績

2019年5月1日

氏名 芳野 まい

学位：修士（地域文化研究）、DEA（フランス文学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド			
映画、文学のなかのファッション	ファッション史、映画、文学			
主要担当授業科目	ファッション文化論、ファッション総論、ブランド論			
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項				
事項	年月日	概要		
1 教育方法の実践例 NHK ラジオ「まいにちフランス語」 応用編 メイン講師	2014年10月～12月 (2016年1月～3月 再放送)/2017年1月 ～3月	「ファッションをひもとき、時を読む」 「ガストロノミー・フランセーズ 食を 語り、愛を語る」 企画・台本作成・出演・テキスト執筆		
2 作成した教科書、教材 <i>Choses qui font battre le cœur</i>	2013年11月	「日本について、職業について、フランス 語で考え、発信するためのフランス語教科 書」、監修・執筆、弘学社		
3 教育上の能力に関する大学等の評価 <i>Choses qui font battre le cœur</i> について	2014年2月	在日フランス大使より公式書簡		
4 実務の経験を有する者についての特記 事項		特記なし		
5 その他 “Translation and realization - the plurilinguistic theater”  “Theater and Education”	2013年6月  2015年11月	招聘基調講演「演劇翻訳と多言語主義の 実践について」Passion for Language, Jönköping University (Sweden) 招聘基調講演「演劇と教育」 Obrero University/ Obrero County Thater (Sweden)		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項	年月日	概要		
1 資格、免許	1992年12月  1992年12月 1995年2月	実用英語検定1級  通訳案内業国家資格（英語） DALF フランス語上級学力資格（フランス国民教 育省認定公式フランス語資格）		
2 特許等		なし		
3 実務の経験を有する者についての特記 事項	2015年11月～	一般財団法人セゾン現代美術館 理事		
4 その他		なし		
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共 著の別	発行又は発 表の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表 学会等の名称	概要
(著書) 1『フランス哲学・思想事典』 2『日本大百科全書』	共著 共著	1999年1月 2004年10月	弘文堂 小学館	分担執筆（スタール夫人の項） 分担執筆（映画監督「ケン・ラッセル」「パトリ

3 『演劇学の教科書』	共訳	2009年4月	国書刊行会	ス・ルコント」「ジャック・ドゥミー」「クロード・ルルーシュ」「リュック・ベッソン」の項 「映画と演劇」の項 (エルメスの専属調香師による、香水と香りのビジネスに関する教科書)
4 『香水』	翻訳	2010年12月	白水社	
5 『島根県立石見美術館コレクション モードとインテリアの20世紀展 ポワレからシャネル、サンローランまで』	共著	2016年11月	美術出版社	「1900-1919年：上流階級の女性の暮らし」
(学術論文)				
1 《La musique chez Marcel Proust》	単著	1997年10月	パリ第四大学 フランス文学科	DEA論文(仏語) ブルーストにおける音楽について)
2 「ブルーストの文学創作と音楽」	単著	1998年3月	東京大学大学院 総合文化研究科	修士論文 (ブルーストの小説執筆に音楽が与えた影響について)
3 「ヴェルデュラン夫人の『音楽の殿堂』 シャンゼリゼ劇場をめぐってブルーストにおける外国文化の問題に関する一考察」	単著	2002年3月	東京大学大学院 総合文化研究科	『紀要 ヨーロッパ研究』1号 (ブルーストの小説とシャンゼリゼ劇場をめぐり政治的状況の関連性について)
4 「ブルーストにおける『フランス的趣味』の問題に関する一考察 初期(1909-1913) ロシア・バレエの受容をめぐって」	単著	2002年3月	東京大学大学院 総合文化研究科	『年報 地域文化研究』5号 (ブルーストの小説とロシア・バレエの流行について)
5 「1913年のタンゴ ブルーストにおける『流行』の問題」	単著	2008年4月	学習院大学 文学部	『研究年報』54号 (ブルーストの小説におけるダンスについて)
6 流行という媒体 第一次大戦前のモードとブルースト」	単著	2010年4月	文化女子大学	『紀要 人文社会科学研究』 18集 (ブルーストとファッション)
7 「流行という媒体 第一次大戦前の劇場と『失われた時を求めて』」	単著	2010年4月	学習院大学 文学部	『研究年報』56号 (ブルーストの小説と執筆当時の劇場状況について)
8 「ジャック・ベッケルの『偽れる装い』 オートクチュールのメタファーとしての恋」	単著	2011年4月	学習院大学 文学部	『研究年報』57号 (オートクチュールのシステムと映画のストーリーの関連性について)
9 「ウィリアム・クライン『ボリー・マギー お前は誰だ?』における王子の役割 ファッション、メディア、シンデレラ」	単著	2013年4月	学習院大学 文学部	『研究年報』58号 (クライン映画におけるファッションの役割とその描かれ方について)
(その他)				
1 「研究ノート：演劇における翻訳・台本作成の問題 静岡県舞台芸術センター『ドン・ファン』公演の例から」	単著	2011年3月	総合社会科学会	『総合社会科学研究』 第3集3号
2 《Le travail de traduction dans le cadre d'une création théâtrale interculturelle El Don Juan d'Omar Porras》	単著	2010年12月	<i>Théâtre/Public</i> ,	N 198 (多言語演劇における翻訳の問題について)
3 「演劇と翻訳：言語表現と身体表現、言語表現と演出の関係、そしてコミュニケーションの問題 『ドン・ファン』台本翻訳の問題を通して」	単著	2009年11月	早稲田大学	国際シンポジウム 「演劇・舞踊・芸術環境 日仏交流の20世紀」 口頭発表
4 「流行という媒体 ブルーストにおけるファッション」	単著	2010年5月	服飾文化学会	服飾文化学会第11回研究大会口頭発表
5 演劇における翻訳・台本作成の問題 静岡県舞台芸術センター『ドン・ファン』講演(2009年、2011年)の例から」	単著	2011年6月	総合社会科学会	総合社会科学会、第13回総会・研究大会 口頭発表
6 "Translating the "gaps". The plurilinguistic theater.	単著	2014年8月	AILA(Applied Linguistics Association)	AILA World Congress 2014 口頭発表 (多言語演劇と「ずれ」を創造的に翻訳することについて)
7 「ヴィクトル・ユゴーと風刺」セゴレーヌ・ルメン著	翻訳	2016年3月	学習院大学大学院	CARICATURANA 2015、学習院大学大学院人文科学研究 共同研究プロジェクト
8 DVD「ボリー・マギーお前は誰だ?」	翻訳	2017年3月	リスクトラッシュ	ウィリアム・クライン監督(1960年代ファッションの変化を描いた映画)

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。